

1. メンテナンスリース対象商品ラインナップ

賃貸集合住宅に関わる様々な機器・設備を、リースで手軽にご利用いただけます

メンテナンスリース

- ・給湯器(給湯専用・追い焚き付)
- ・エアコン
- ・温水洗浄便座
- ・TVドアホン
- ・火災警報器
- ・IHクッキングヒーター
- ・コンロ

クレジット(リース対象外)

- ・化粧洗面台
- ・ユニットバス
- ・システムキッチン
- ・浴室換気乾燥機

2. メンテナンスリースとクレジットの違い

契約形態	メンテナンスリース	クレジット
所有権	リース会社	完済後にお客様
契約終了後	物件返却 または 再リース	お客様の資産 (完済後)
動産総合保険	○	○
会計処理	経費処理可能	資産計上が必要
固定資産税納付	リース会社	お客様
対象となるもの	給湯器、エアコンなど 移設可能な動産	動産全般
ご利用場面	陳腐化しやすく、定期的に更新 が必要な機器	比較的長期にわたって使用する 物件

3. メンテナンスリースのメリット

メリット①：多額の初期費用なし

- ➡ 多額な初期費用なしで、新たな住設機器の導入が可能です。
例)入居率UPのために、設備を新しくしたいけど、手元資金は取り崩したくない……。

メリット②：費用対効果の把握が容易に

- ➡ 賃貸物件への投資に対する賃料UPの費用対効果が把握しやすくなります。
例)月額リース料が¥19,000、家賃収入が月々¥30,000UPすると……。

メリット③：動産総合保険の付保

- ➡ リース契約には、台風や火災・いたずら等の偶発的な事故(修理)に対応する動産総合保険が付保されています。
(この保険は残リース料を基準に付保されますので、修理費全額を保険で賄えない場合があります。)

4. メンテナンスリースの特徴

- 1. 「審査申込書」にご記入・捺印いただくだけの簡単審査お申込み。
賃貸オーナー様の収入証明(確定申告書)や印鑑証明書等の提出は不要です。
- 2. リース審査は、お申込の「翌営業日」までのスピード回答で、お待たせ致しません。
- 3. リース契約書の記入・捺印も簡単です。

オーナーズ リース契約書

アパートオーナー リース契約申込書

月額リース料が如何に(自費込み)で考えらる

パートナーリース 契約(審査)申込書

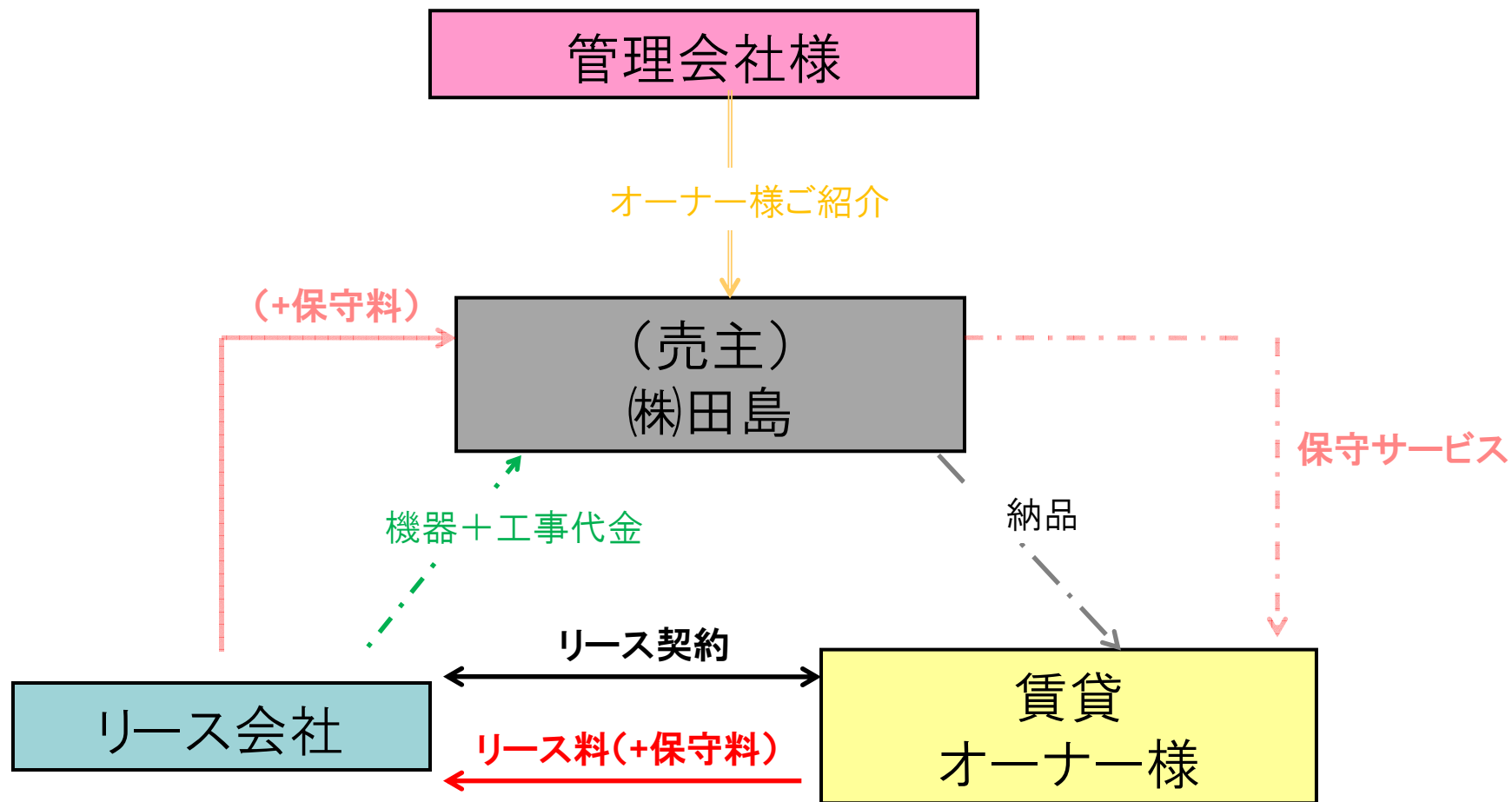
パートナーリースとは?

契約までの手続き

月額リース料が如何に(自費込み)で考えらる

5. 契約形態

賃貸オーナー様とリース会社がリース契約をし、
(株)田島とリース会社で売買契約をする契約形態です。



6. 動産総合保険について

■ 動産総合保険とは？



リース物件を対象に、偶発的事故による損害を担保する保険です。保険期間は、リース契約開始日からリース期間満了日までです。

■ どういう「事故」・「損害」に対応しているのか？

対象(○)	対象外(×)
<ul style="list-style-type: none">・火災 ・落雷 ・破裂、爆発・盗難 ・雪害 ・風害・凍結・いたずら、破壊行為・車両の接触、衝突	<ul style="list-style-type: none">・故意または重過失による損害・自然消耗、さび、カビによる損害・地震、津波、噴火による損害

■ 保険事故が発生した場合はどうしたら良いか？



リース会社へ直ちにご連絡ください。同時に以下の書類をご提出いただきます。

- ① 保険事故報告書(賃貸オーナー様にて記入)
- ② 修理見積書
- ③ 物件写真(※修理前に撮影)
- ④ その他(罹災証明書、盗難届受理番号等)